

(3-2) 身近な見守り・支えあい

◆具体的な取組

●地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

生野区社会福祉協議会に「見守り相談室」を設置し、
「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を配置

- ①要援護者名簿の作成、同意確認
- ②CSWによる孤立世帯等への専門的対応
- ③認知症高齢者等の行方不明者時の早期発見

●ご近“助”パワフルサポート事業

各地域に「福祉コーディネーター」を配置

- ・住民と住民の支えあいの橋渡し
- ・住民と福祉専門職をつなぐ接点

◎業績目標

福祉コーディネーターの相談受付件数

：前年度下半期の相談受付件数の2倍以上

(3-3)「地域包括ケアシステム」の構築・推進

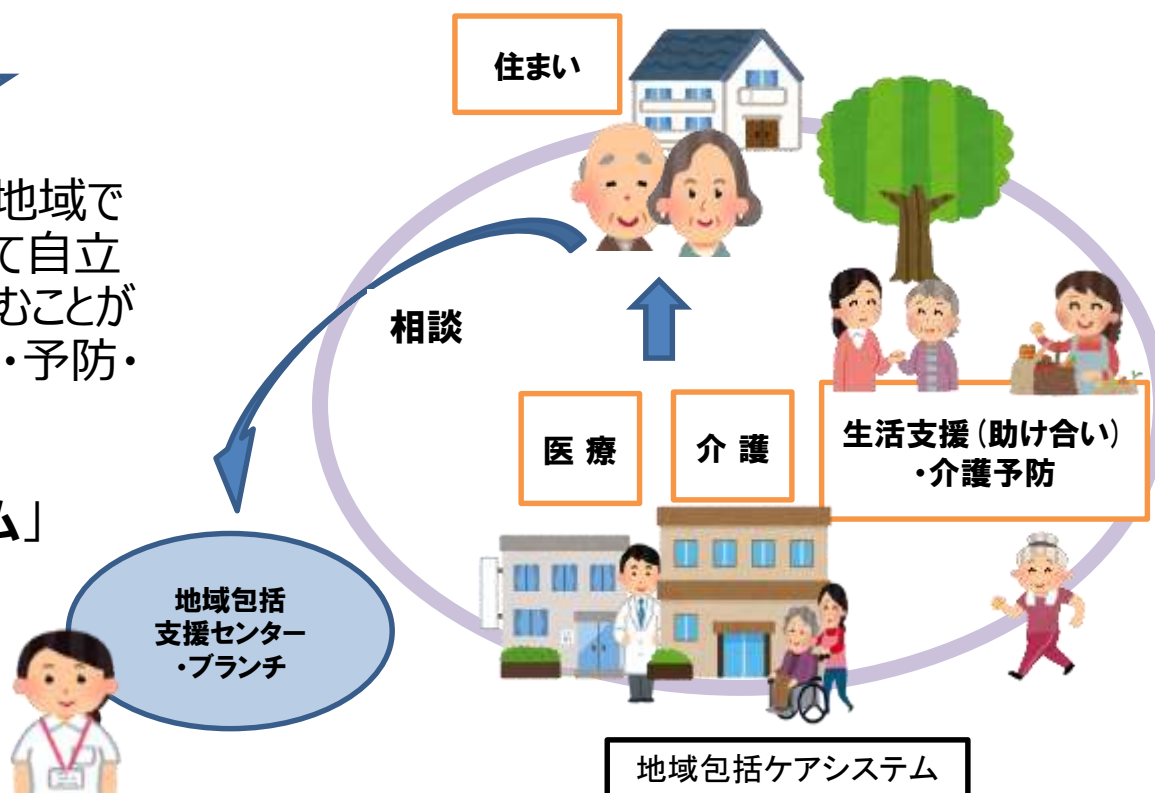
◆現状・課題

区予算算定見込額 - 千円

生野区では、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者の割合が大阪市平均より高く、支援の必要性が高い。

高齢化率（31.4%）・単身高齢者率（20.6%）24区中2位 (H27国勢調査)

高齢者が 住み慣れた地域で
その有する能力に応じて自立
した生活を安心して営むことが
できるよう、医療・介護・予防・
住まい・生活支援が
一体的に提供される
「**地域包括ケアシステム**」
による支援が必要。



(3-3)「地域包括ケアシステム」の構築・推進

◆具体的な取組

- 医療・介護の専門職による、在宅医療・介護連携を推進
(在宅支援ネットワーク会議・シンポジウム等)
- 多職種連携による認知症に関する普及啓発や事例検証等の対応力向上
(認知症高齢者支援ネットワーク会議等※在宅支援ネットワーク会議と同時)
- 介護予防・生活支援サービス事業の充実、円滑な運用に向けた取組
- 高齢者の自立支援、重度化防止に向けた取り組み
(自立支援型ケアマネジメント会議)

◎業績目標

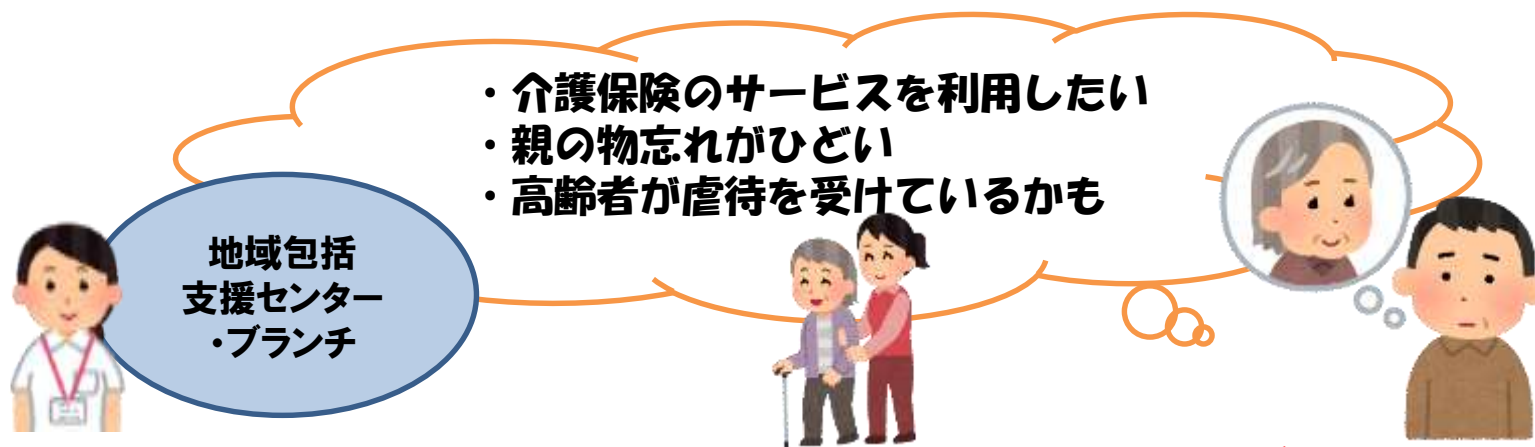
区内4つの**地域包括支援センターの
相談延件数が、区内高齢者人口の
45%以上**

※65歳以上の高齢者数：41,255人
(令和2年9月末時点)



<ACP (アドバンス・ケア・プラン) 多職種研修>

(3-3) 「地域包括ケアシステム」の構築・推進



こんな時は地域包括支援センター・総合相談窓口(ブランチ)へ!

●生野区地域包括支援センター

舍利寺・勝山・東桃谷・生野
西生野・林寺地域

☎ 06-6712-3103

◆生野東ブランチ ☎ 6715-2188

●東生野地域包括支援センター

東中川・小路・東小路地域

☎ 06-6758-8816

●鶴橋地域包括支援センター

御幸森・中川・北鶴橋・鶴橋地域

☎ 06-6715-0236

◆大池ブランチ ☎ 6753-6580

●巽地域包括支援センター

生野南・田島・巽・北巽・巽南・巽東地域

☎ 06-6756-7400

◆田島ブランチ ☎ 6751-1271

◆新生野ブランチ ☎ 6758-0088

◆新巽ブランチ ☎ 6752-0003

(4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

◆現状・課題

区予算算定見込額 12,924千円

高齢者、障がい者、こども、ひとり親家庭、生活困窮者など支援を必要とする全ての人々が社会全体とつながりを持ち、必要なサービスが確実に届く、取りこぼしのない支援が求められている。

◆具体的な取組

- 虐待の早期発見・早期対応と再発防止に向けた啓発
- 「くらしの相談窓口いくの」の運営
 - ・しごとや生活に関する各種相談・支援
 - ・関係機関の情報共有や支援体制の検討
- 複合的な課題を持ち、既存のしくみでは解決できない困難事例に対し、各関係機関が連携
⇒「総合的な支援調整の場（つながる場）」を開催



(4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

● 重大児童虐待ゼロを目指した取り組み

- ・「こども地域包括ケアシステム」の運用により、各支援施設・団体と連携し、区内の支援が必要なこどもの早期発見や課題解決に取り組む。

情報共有サイト「**キントーン (kintone)**」の活用

子育て支援に関わる行政機関・関係団体・NPOなどが個人情報を除く支援や相談に関する情報交換

利用登録者数 11月現在 105名

まちぐるみでこどもを育てるためにつなごう！
「生野区こども地域包括ケアシステム」



大阪市生野区役所

情報共有サイト キントーンログイン画面



(4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

●重大児童虐待ゼロを目指した取り組み（続き）

- ・子育て相談体制の強化により、福祉的課題のある家庭に定期的な見守り・支援を行う。

●こどもサポートネット事業（こどもの貧困対策関連）

学校と区役所が連携し、「こどもサポートネット事業」による総合的支援を効果的に行う。

●里親制度の普及啓発

- ・里親制度の理解と協力を得るため、積極的に啓発活動を行う。



◎業績目標

- 重大虐待ゼロの状態を維持する。
- こども虐待や高齢者虐待などの専門家、支援機関、学校や保育園が参加したワークショップ（連絡会）でのアンケート結果で、理解が深まったという意見：75%以上

(4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆現状・課題

教科（国語・数学（算数）・英語）に関する調査について、
大阪市は**全教科で全国平均を下回る**(R元)

普段の勉強時間について「**全くしない**」と

答えるこどもの割合（R元）

小学5年生 生野区 9.1% 大阪市 6.9%

中学2年生 **生野区 11.8%** 大阪市 9.1%



(経済的な理由で)

「こどもを**学習塾に通わせることができなかった**」と答える保護者の割合

中学2年生保護者 **生野区 12.7%** 大阪市 11.9%

(4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆具体的な取組

区予算算定額 3,143千円

●生きるチカラを育む課外授業『みらい塾』

民間事業者等を活用した大学生等による『**悩み相談**』と『**課外学習**』

⇒**基礎学力の向上と自己肯定感の醸成**をはかり、「**自ら学ぶ力**」の定着をめざす。

(大池中・東生野中・田島中・新生野中にて課外授業を実施)



◎業績目標

参加者に対し事業実施前と後にアンケートを行う。

⇒「**1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか**」
という問に対する回答として、「**30分より少ない**」「**全くしない**」
と答える生徒の割合を**半減**させる



(4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆ 具体的な取組

● 生きるチカラまなびサポート事業

区担当教育次長予算算定額
2,483千円

※こどもの貧困対策関連の取組

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」を
学校の要請に応じて派遣（R2実績 24件（11月末時点））

⇒登録講師や講座数を増やすなど、より学校が使いやすい仕組みとする



【プログラミング授業】



【経営者による講義】

◎ 業績目標

児童・生徒に対し、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問について、
「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」といった否定的な回答を答える
受講者の割合を小学校、中学校とも、6.0%未満にする。

(5-1) 人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり

◆現状・課題

区予算算定見込額 1,404千円

人権啓発推進員と連携して、高齢者や障がい者、外国籍住民などの様々な人権に関する課題解決に向け取り組んでいるが、従来の人権尊重・人権擁護への取組に加えて、近年課題と認識されてきたLGBTやヘイトスピーチなど多様な人権課題への理解を深める必要がある。

◆具体的な取組

- 地域人権講座の開催 4回
- 人権啓発事業（講演会、映画会など）の開催 3回
- 広報誌「ふれ愛」の発行 1回



地域人権講座（令和2年度）

◎業績目標

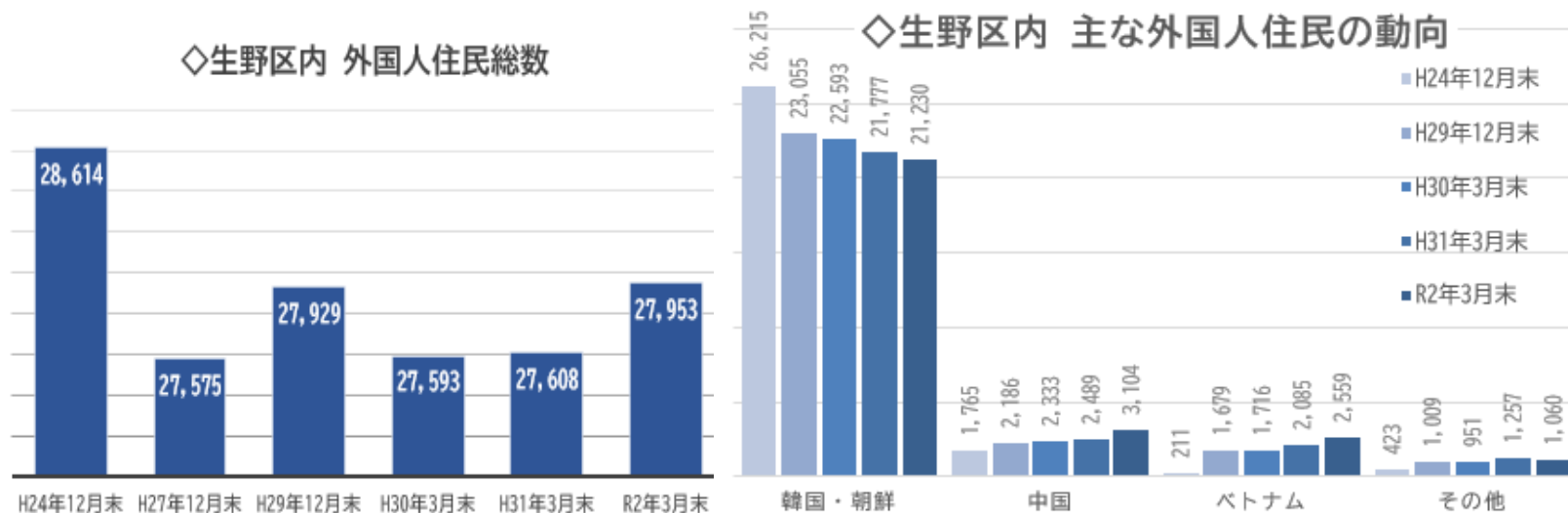
各事業（講座・講演会）の参加者アンケート：理解度90%以上

(5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

◆現状・課題

区予算額 1,118千円

- 生野区では、これまでも在日韓国・朝鮮人をはじめとした外国籍住民の人権、多文化への理解、啓発促進に取り組んできたが、近年は**多様な国籍のニューカマーの方々の増加が顕著**となっている。



- 一方で、外国籍住民のための必要な情報の多言語化が不十分で、防災情報や生活情報が必ずしも伝達できておらず、また、外国籍住民が地域住民の一員として地域コミュニティに参加できる機会が少ないため、ニューカマーを含めた**すべての外国籍住民を対象にした取組が必要**である。

(5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

◆ 具体的な取組

- 防災情報の多言語化（6言語対応）等（通年）
- 「やさしい日本語」での情報発信（通年）
- 区内民間施設（日本語学校など）外国人コミュニティとの連携強化
- 交流機会の提供、人材の発掘・育成
やさしい日本語をきっかけとしたコミュニティづくり支援
- 地域イベントでの取組
区民まつりにおける多文化共生ブースの設置
当事者・支援者による自主的な取組への支援

「やさしい日本語から、つながろう」

「やさしい日本語」
缶バッジ・ステッカー



◎ 業績目標

区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると
回答した区民の割合：50%以上

